

Abstract

AROMA RESEARCH No.53 (vol.14/No.1)

インドネシアの未開発天然素材の多機能性・多様性に着目した高度利用 清水 邦義

〈要旨〉

インドネシアは、熱帯多雨林に属し、極めて生物多様性が大きく、多種多様な天然素材が存在するが、大部分の機能は未解明であるのが現状である。我々は、現地研究者との共同研究を通して、様々な天然素材の機能探索を行ってきた。ランダムスクリーニングによる機能性素材の探索ならびに、現地での使われ方にヒントを得た高度利用の方策について例を挙げて紹介したい。前者では、チロシナーゼならびに 5α -リダクターゼ阻害活性を有することが見いだされたパンノキ (*Artocarpus*) 属樹木を、後者では、イネ科植物であるベチバー (*Vetiveria zizanioides*) の根の多機能性（香りの持続的注意力低下抑制効果、消臭効果、抗菌効果、防虫効果等）を中心に紹介する。

〈キーワード〉

インドネシア、ランダムスクリーニング、パンノキ、ベチバー、機能性天然素材